

Press Release



〒753-8511 山口市吉田1677-1
TEL : 083-933-5007
FAX : 083-933-5013
E-mail : sh011@yamaguchi-u.ac.jp

【2025年5月1日】

送付枚数 本票含め3枚

報道機関 各位

件名：5月7日開催

「山口大学 One Welfare 国際研究センター公開シンポジウム」

陽春の候、貴社におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

山口大学 One Welfare 国際研究センターは、人と動物のウェルビーイング（幸福感）を一体的に捉えた新たな手法・視点による異分野融合研究を推進する拠点として、人と動物がより良く共生できる社会の実現に貢献することを目指しています。

このたび、人と野生動物との共生を目指し、多様な課題に対する先導的な調査研究・社会活動の取り組みを共有し、持続可能な未来を考える場とすることを目的として、下記のとおり公開シンポジウムを開催します。

つきましては、本シンポジウムの取材及び報道等についてご高配賜りますようお願い申し上げます。

記

テーマ：『One Welfare と野生動物医学～人と野生動物の共生のために～』

開催日時： 令和7年5月7日（水）13時15分～17時00分

開催会場： 山口大学吉田キャンパス大学会館

対象者： 一般・関係者

プログラム： 13：20～「ニホンザルとツキノワグマのワイルドライフマネジメント」

森光 由樹（兵庫県立大学准教授）

14：25～「野生鳥獣が運ぶ人獣共通感染症」

下田 宙（山口大学准教授）

15：35～ 「北海道における希少野生猛禽類の保全医学活動」

斎藤 慶輔（猛禽類医学研究所代表）

参加費： 無料

その他： 事前申込不要、12時50分開場・受付開始

●この件に関する詳細は下記までお問合せください

山口大学 One Welfare 国際研究センター

清水 隆

山口大学共同獣医学部内

〒753-8515 山口市吉田 1677-1

TEL : 083-933-5895

山口大学 One Welfare 国際研究センターホームページ

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/vet/laboratory/OneWelfare/>

●発信者

国立大学法人山口大学

総務企画部総務課広報室


〒753-8511 山口市吉田 1677-1

TEL : 083-933-5007

FAX : 083-933-5013

E-mail : sh011*yamaguchi-u.ac.jp

（メールの際は、* を @ に変更下さい）

The background is a vibrant, stained-glass style illustration. The top half features a large bird of prey, possibly an eagle or hawk, with its head turned to the left. Its feathers are rendered in a mosaic of yellow, orange, red, and brown. The bird's face is detailed with large, expressive eyes and a sharp beak. Below the bird, a dog's face is visible, looking upwards. The dog's fur is depicted in shades of purple, pink, and blue. The entire scene is set against a backdrop of swirling, abstract shapes in various colors, including blue, green, and white, creating a sense of movement and depth.

2025年度
山口大学
One Welfare
国際研究センター
一般公開シンポジウム

テーマ

『One Welfareと野生動物医学』
～人と野生動物の共生のために～

日時: 2025年5月7日(水)
13:15~17:00(12:50開場・受付開始)

場所: 山口大学吉田キャンパス大学会館

* 予約不要、当日先着順

《講演者》

齊藤慶輔 先生（猛禽類医学研究所 代表）

『北海道における希少野生猛禽類の保全医学活動』

森光由樹 先生（兵庫県立大学 准教授）

『ニホンザルとツキノワグマのワイルドライフマネジメント』

下田 宙 先生（山口大学 准教授）

『野生鳥獣が運ぶ人獣共通感染症』

《趣旨》

野生動物に関する問題は、種の保全や繁殖管理、獣害対策や救護、そして人獣共通感染症といった幅広い領域に及びます。地球環境の悪化に伴い、野生動物の絶滅はかつてない速度で進行し、このまま進めば人類の生存をも危うくする危機に瀕することが予測される今、種の多様性の確保や遺伝子資源の保全は世界的な重要課題となっています。特に日本では野生動物の飼育と始めとする国特有の課題を抱えています。これらの問題に対して、世界各国の大学や研究機関による国際的な対応がなされる中、野生動物医学からのアプローチが盛んにおこなわれています。野生動物医学は、野生動物の保護管理を実践するための理論確立、傷病野生動物の治療と野生復帰の技術確立、人獣共通感染症の感染環とそのメカニズムの解明、希少動物の飼育下繁殖方法の確立、生体機構と個体群動態との関連の解明などを目指した環境科学、保全生物学、動物疾病学ならびに動物臨床医学などの分野であり、環境、人、動物の健康と福祉に深く関係する学術領域です。

本シンポジウムでは、多様な課題を抱えるわが国で、人と野生動物が共生していくために重要な情報や実態について、先駆的調査や社会活動を実践する研究者の方々からご紹介いただきます。シンポジウムを通して、野生動物が正しく認識され、共生社会創造の一助となればと期待しております。

- どなたでもご参加いただけます
- オンサイト限定
- 事前予約なし、当日先着順（200名）

〔本シンポジウムに関するお問い合わせ先：

OneWelfare国際研究センター 清水 隆 TEL 083-933-5895〕

山口大学  ne Welfare国際研究センター

Webサイトはこちらです⇒

